

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	182 男女共同参画社会促進事業経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本施策	41 あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	目	19	男女共同参画費
		細目	152	男女共同参画推進経費
行革大綱の重点事項番号		1・3		
担当部課	コード	100900		担当者氏名
	名称	人権生活環境部人権政策・男女共同参画課		
		河野 慶子	連絡先	22 - 9632 (内線) 2180

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	男女共同参画に関連する活動へ、積極的に参画しようとする団体・個人	※対象件数
成果(どうする)	地域活動の核となる団体や人材が育成される。	
根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法・伊賀市男女共同参画推進条例	
開始年度	平成 9 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	男女共同参画ネットワーク会議員で立ち上げた実行委員会へ事業委託し、平成21年6月27日(土)に「男女共同参画フォーラムいきいき未来いが2009 6.27」を開催しました。 会場:あやま文化センター、オープニング「あやま文化協会」による「赤松太鼓」、講演会:講師山本衣奈子さん・演題「人を元気にする『言葉の整理術』〜今日から使えるコミュニケーション〜」、その他分科会、市内保育所(園)・幼稚園児による絵画展、「みんなが元気になる一言メッセージ」作品展(市民からの公募作品)など実施しました。	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
フォーラム参加者数		人	目標	430	目標	300
			実績	430	実績	350
フォーラム実施回数		回	目標	1	目標	1
			実績	1	実績	1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
ネットワークの加入団体数		市民の意識改革を図るため、リーダー的な役割をはたしてくれる団体会員	団体	目標	44	目標	44
				実績	40	実績	44
分科会の自主運営と積極的活動する団体数		開催分科会と活動のPRの団体数	団体	目標	10	目標	10
				実績	8	実績	8

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	671	677	693	693				
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0			
一般財源	671	677	693	693				
事業投入人件費(B)	0.6人 4,320	0.5人 3,600	0.4人 2,880	0.4人 2,880				
フルコスト(A)+(B)	4,991	4,277	3,573	3,573				

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人(の)力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 <input type="text" value="無"/> 繰越の種別 <input type="text"/>	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	平成22年度もあやま文化センターで開催します。PRを効果的に行い、新たな来場者を集めます。
昨年度の取組状況	【状況】 <input type="text" value="計画のとおり進んでいる"/> 【詳細】 平成21年度はあやま文化センターで開催しました。収容人数は本年度より減少(会場収容者数のため)となるが、阿山地域で今まで参加していない人が参加できました。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	大橋 久和
事業の方向性	【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/> 【理由】 ネットワーク加入団体への活動支援やフォーラム等の取り組みの発信の場をつくることで、団体や会員個々の主体的な取り組みの促進を図る
現時点における課題、その他	政策決定の場へ、女性の参画を推進するために、ネットワーク加入団体の拡大を図ることも大事だが、リーダー的人材の絶対数が不足している。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	引き続き啓発を進めていく一方で、平成22年度中に女性の人材バンクを開設し、人材の発掘を図るとともに、審議会等政策決定の場での女性登用の拡大に努める。